

社長メッセージ

すでにご案内のとおり、当社が季刊でお届けしてまいりました社内報『マルカニュース』は、2026年1月をもちまして株式会社ジーネットと統合し、新会社UNISOLが発足するのに伴い、誠に残念ながら本号(2025年10月号)をもって廃刊することになりました。

1959年(昭和34年)11月5日の創刊以来、66年という長きにわたり、社員の皆様、そして取引先の皆様に温かいご支援とご愛読を賜りましたこと、編集部一同、心より深く感謝申し上げます。

思えば会社創立80年、戦後の復興期にあって、社内外の絆を深め、未来への希望を共有する媒体として『マルカニュース』は誕生しました。以来、私たちはこの誌面を通じて、会社の歴史の一步一步を刻み、社員一人ひとりの成長と挑戦を応援し、喜びや苦労を分かち合ってまいりました。新入社員の初々しい挨拶からベテラン社員の長年の功績、あるいは部署を超えたプロジェクトの進捗や、地域社会との交流まで、多岐にわたる記事は、まるで会社の「生き様」そのものであったと感じています。

また、取引先の皆様には、当社の企業文化や社員の素顔、そして事業に対する熱い想いをお伝えする窓として、本誌をご活用いただけたことと存じます。皆様からの貴重なご意見や温かい励ましのお言葉は、私たち編集部にとって何よりも大きな喜びであり、より良い誌面を作り続けるための原動力となっております。皆様と共に『マルカニュース』を育み、共に歩んでこられた66年間は、かけがえのない宝物です。

そして、この66年間の道のりにおいて、私たちマルカが常に胸に刻んできたのが、会社のポリシーである当社社訓「人生是誠也」という言葉でした。お客様や取引先の皆様に対して常に誠実であろうと努め、社員一人ひとりが誠心誠意、日々の業務に取り組む姿勢こそが、会社を成長させる原動力であると信じてまいりました。

マルカニュース創刊号の巻頭で、当時の社長田中嘉助はこのように記しています。

『丸嘉信条について私見を申し述べますと先ず第一に我丸嘉の事業が成長し発展することが即国家社会の発展に寄与し貢献するものでなければならぬことは当然のことである。我々は単に自己の利潤追及のみに走ることは許されず国家社会に貢献しその余徳としての利益を得ることではなければ事業の永続性はない。(中略)誠実の積重ねから信用が生まれ社内外のよき人間関係も生まれる、信用こそ金で評価の出来ない大切な資本である。**われらの願いーわたしたちは 日々の業務を通じて 国家社会に貢献し 顧客と共に 繁栄、幸福であることを 心から念願する。』**

本誌マルカニュースもまた、この「人生是誠也」の精神に基づき、常に真摯な姿勢で情報をお届けすることを心掛けてきたつもりです。

今後、UNISOLはより効果的かつ迅速な情報発信のあり方を模索し、新たな媒体やツールを通じて、皆様とのコミュニケーションを継続していく所存でございます。

会社は新しい歴史を刻み始めることにはなりますが、これからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

『マルカニュース』はここで一区切りとなりますが、本誌が皆様の心の中に温かい思い出として残ることを願っております。

66年間のご愛読、ありがとうございました。

皆様の今後ますますのご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

本当にありがとうございました。

代表取締役
飯田 邦彦



マルカの歴史

未来へ繋がる「Unique Solutions」の軌跡

マルカは、1946年の創業以来、常に時代の変化に適応し、持続可能な未来に向けて挑戦を続けることで発展を遂げてきました。その歴史は、お客様の課題解決に貢献する「Unique Solutions」を提供し続けてきた証です。

1946年

田中嘉助が社長として
「丸嘉株式会社(大阪市東区久太郎町4-10)」を設立

1955年

機械部門を発足させ、工作機械・鍛圧機械の取り扱いを開始

1956年

本社を大阪市東区豊後町41番地に移転

1962年

「丸嘉機械株式会社」と商号を変更し、
名実とも機械専門商社として方向を確立

1970年

「マルカキカイ株式会社」に商号を変更

1975年

代表取締役社長に若山 永太郎が就任

1981年

本社を大阪府茨木市五日市緑町2番28号に移転

1988年

代表取締役社長に乾 孝義が就任

1998年

大阪証券取引所市場第二部(大証2部)に株式を上場

2003年

代表取締役社長に釜江 信次が就任

2005年

東京証券取引所市場第二部(東証2部)に株式を上場

2006年

東証1部・大証1部に上場

2011年

代表取締役社長に竹下 敏章が就任

2017年

本社を現在地、大阪府中央区南新町2丁目2番5号に移転

2019年

「株式会社マルカ」に商号を変更

2021年

代表取締役社長に飯田 邦彦が就任。
フルサト・マルカホールディングス株式会社を設立。

予定
2026年

フルサト・マルカホールディングス株式会社は、「ユニソルホールディングス株式会社」へ商号変更。
株式会社マルカおよび株式会社ジーネットが合併し、「ユニソル株式会社」を設立。
株式会社マルカの建設機械部門を分社化し、新会社を設立。



▲創業時(1947年) 本社ビル



▲本社新築移転(1956年)



▲本社新築移転(1981年)



▲本社移転(2017年) 現マルカビル

新たに新商号「ユニソル株式会社」として、ソリューションサービスを提供します。

当社と(株)ジーネットは、合併による統合を行い、2026年1月1日に新商号「ユニソル株式会社」を設立いたします。

■統合の目的

当グループにおける主力事業である機械・工具事業は、当社と(株)ジーネットが中核となっており、これまでクロスセリングの推進やグループ全体での調達機会の拡大などを通じて、シナジー効果を追求してまいりました。しかしながら、グローバルな競争の激化や技術革新の加速化により、ますます厳しくなるビジネス環境において、高度化・多様化するお客様のニーズを的確に捉え、さらなる最適な価値を提供していくためには、個々の企業の協業を超えて一体化し、総合力を高めることが重要であると判断いたしました。

本統合により、両社の強みを結集することで、お客様に対して一層、高付加価値で革新的なソリューションを提供し、機械・工具事業の競争力をさらに高め、持続的な成長を実現してまいります。

■会社概要

社名	ユニソル株式会社 (UNISOL Corporation)		
所在地	大阪府大阪市中央区南新町1丁目2番10号		
役員体制	代表取締役会長	飯田 邦彦	
	代表取締役社長	古里 龍平	
	取締役	山下 勝弘	
	取締役	大橋 勇志	
	監査役	栗山 順	
	監査役	澁谷 照子	



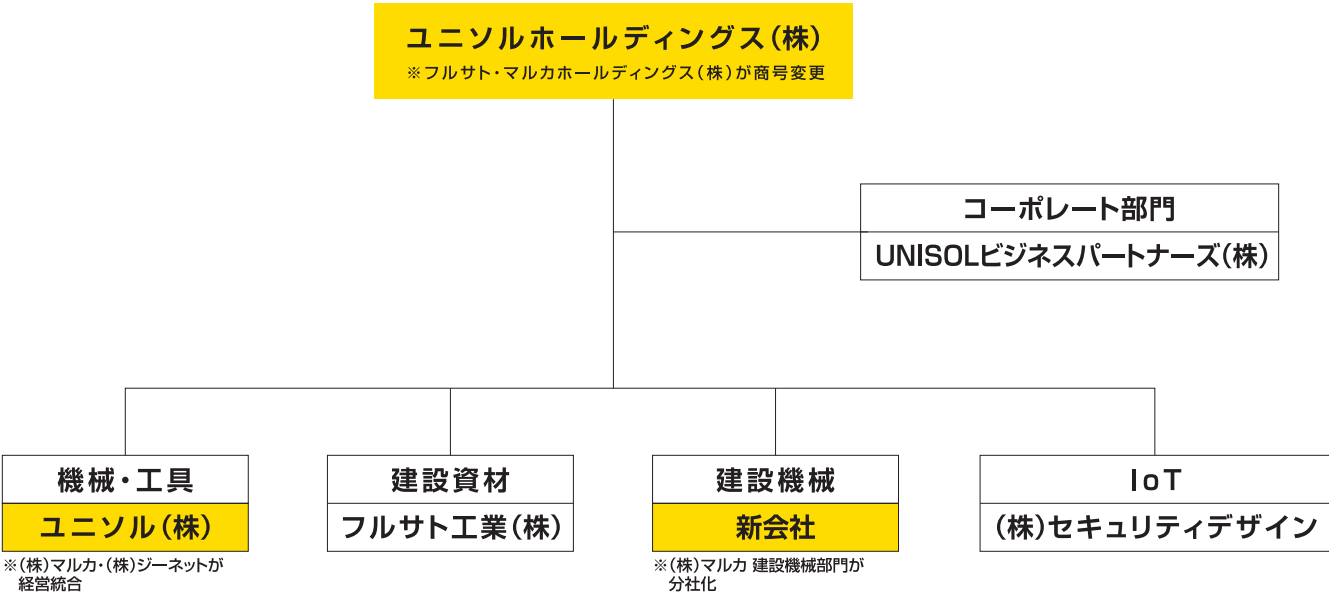
(株)マルカの建設機械部門は、分社化し新会社として新たに始動します。

当社の建設機械部門は、当グループにおける事業セグメントの整理の一環として2026年1月1日に新会社として始動いたします。

■会社概要

所在地	大阪府大阪市中央区南新町1丁目2番10号		
代表者	代表取締役社長	飯田 邦彦	

■UNISOLグループ 2026年経営統合・分社化後の事業体制



ユニソルを担う次世代の抱負



エンジニアリング事業本部
ソリューションセールス部
佐藤春樹さん

1998年に(株)マルカキカイに新卒入社してから28年。お客様からの信頼を第一に、日本、アメリカ、中国、そしてアジア各国の仕入先の皆様、そして従業員の仲間たちと、ひたむきに仕事に取り組んできた日々は、私の誇りです。

新生ユニソル(株)は、そんな私たちの歴史と伝統の上に築かれます。しかし、ただ過去を守るだけではいけないと強く感じています。これまでの経験を礎としながらも、新しい発想やアプローチで、業界に新しい風を吹き込んでいくことこそが、私たちの使命です。

奇しくもこのような節目の年に、エンジニアリング事業本部ソリューションセールス部という新しい部署の責任者としてスタートを切れることに、不思議な縁を感じます。「モノ売りからコト売りへ」をテーマに、会社と業界を変える存在の一助となれるよう、仕組み作りと仲間作りに邁進したいと思います。

新生ユニソル(株)に、どうぞご期待ください!



米州営業本部
藤木慶吾さん

2026年、マルカとジーネットが経営統合により誕生するユニソル株式会社は、両社の技術力・販売力とネットワークを融合させ、日本国内・グローバル市場における競争力をさらに高めるための重要な一歩です。これまで培ってきた信頼と実績を土台に、より柔軟かつスピーディな意思決定を可能とする体制を構築し、国内外のお客様のニーズに的確に応えていきたいと思っています。

特に、今後の成長が期待される北米・アジア市場においては、それぞれの地域の我々の組織力をさらに強化していくと共に、各仕入れ先様との連携を強化し、製品・サービスの現地最適化を推進することで、持続的な成長を実現したいと考えています。

また、これまで長年にわたりご支援いただいたお客様、そしてメーカー様への感謝の気持ちを忘れず、信頼関係をさらに強固なものにしていくことが、ユニソルの成長に不可欠だと考えています。

加えて、ユニソルの未来を担う人材育成が大切で、社員一人ひとりが自律的に成長できる環境を整え、組織全体の底上げが重要だと考えます。

不確実性が高まり続ける世界情勢の中ですが、私自身もこの新会社の一員として、常に学び続け、少しでも会社の成長と発展に貢献できるよう、誠実に努めてまいります。



機材本部
坂口光夫さん

このたびの経営統合により、機械商社の専門性と工具商社のノウハウが融合した新会社「ユニソル」が誕生します。それぞれの強みを結集することで、これまでのビジネスの枠を超えた新しい価値を創造できると確信しています。

ユニソルという社名には、「ユニークソリューションズ」(唯一無二の解)という意味が込められております。この名に恥じぬよう、お客様が抱える課題に対し、これまでにない革新的な解決策を提供していくことを目指したいと思います。

私たちは、統合によって生まれるシナジーを最大限に活用し、お客様の生産性向上に貢献する総合的なソリューション提案を強化してまいります。これまでの機械や工具の販売という枠組みを超え、設備導入からアフターサポート、そして技術コンサルティングまで、一貫したサービスを提供することで、お客様のビジネスの成長を力強く支えていく所存です。

また、変化を恐れず、自らの専門性を高め続けることで、ユニソルを「エンジニアリング商社」として業界のリーディングカンパニーへと押し上げて行きたいと考えます。

未来を切り拓くユニソルの挑戦に期待するとともに、私たち自身もこの新たなスタートに大きな希望と情熱を抱き、お客様、そして社会に貢献できる企業を目指し、邁進してまいります。



産業機械本部
大阪産業機械第一部
丸山真史さん

マルカニュースとして、最終号という事で、長年マルカニュースをご覧いただき、本当にありがとうございました。

思い返せば、色々な取引先様にご覧いただき、いつもお声がけいただき、それが私どもの励みになっていたと、とても感慨深く、少し寂しい想いでこの記事を書かせていただいております。既に発表させていただいております通り、2026年1月よりユニソル株式会社として、新しい一歩を踏み出す事となりました。今までマルカとして培って来た様々なノウハウに、統合先のジーネットのノウハウを掛け合わせる事で、今まで以上にユニークなソリューションを生み出していく事を目指して参ります。

入社以来、産業機械の営業をさせていただく中で、日本のものづくりの素晴らしさを実感してきました。我々の役割は、その日本のものづくりを世界に誇れる、負けない産業として発展させていくお手伝いをさせていただく事かと思っております。その為には、単なる仕入先・販売先ではなく「共に成長するパートナー」として、常に必要としていただける存在、ひいては「無くてはならない存在」になっていきたいと考えております。

今まで出会って来た全ての取引先様、今後出会う皆様にユニソルの事を「共に成長するパートナー」と思っただけの様、日々Missionである「感動提案で今を拓き、変化の先まで伴走する」という事を実践していきたいと思っています。また、その先は私どものVisionである『「叶えたい」があふれる社会へ』になり、皆さまそれぞれの「叶えたい」が実現していくような社会を目指して参ります。

今後とも変わらずご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

上海 ダイカスト展 2025 に出展しました



2025年7月16日(水)～18日(金)、
中国・上海で開催されたアジア最大規模の鋳造関連展示会
「上海ダイカスト展(CHINA DIECASTING 2025)」に、
私たち広州/上海マルカも出展企業として参加いたしました。

本展示会は、ダイカストマシンをはじめ、金型技術、材料、自動化ソリューションなど、ダイカスト業界における最新技術が一堂に会する国際的な展示会です。今年は世界各国から500社以上が出展し、3日間で延べ2万人以上が来場するなど、大変な賑わいを見せました。

昨年から広州/上海マルカは溶解炉を中心とした鋳造関連設備及びその周辺の自動化設備の販売に注力してきました。その一環で今回は、溶解炉メーカーのYGG-China Technology様(TOKAI様)、洗浄機メーカーの広州HONGXIN Automation Equipment様、そして広州/上海マルカの3社で共同出展いたしました。「人に、地球に優しく省エネを実現する!」をコンセプトに掲げ、YGG様の最新省エネ溶解炉のパネル展示や広州HONGXIN様の洗浄機の実機展示に併せて、広州/上海マルカの鋳造工程におけるトータル自動化ソリューションを紹介し、鋳造現場における環境配慮と生産性向上の両立を目指したご提案を行いました。多くの中国国内外の業界関係者の方々に高い関心を寄せていただき、現地では新たな商談のきっかけや技術交流も多数生まれました。

今後も私たちは、お客様とのつながりを大切に
し、より良い製品とサービスのご提供、そしてお客
様の課題解決に貢献できるよう努めてまいります。

(広州/上海マルカ 中島 勝矢 記)



FOOMA 国際食品 工業展 に出展しました



2025年6月10日(火)～13日(金)の4日間、東京ビッグサイトにてFOOMA国際食品工業展が開催され、グループのアルプラス株式会社、株式会社管製作所とともに共同出展いたしました。延べ110,827名(うち海外4,569名)がご来場され、盛況のうちに閉幕いたしました。

マルカはグループの「アルプラス」ブースでの出展となりました。

アルプラスはサンドイッチライン用スライサー・超音波カット機他、管製作所はトレイ自動供給機を展示、今回はお客様によりご理解いただけるよう、実機の他にモニターにて動画を投影しました。動きだけでなく、様々な活用も見出していただけるといったような内容と致しましたが、「可能性」をお客様自身で考え、見出していただけるということを狙った動画に対して、多くの可能性への投げかけをいただきました。

アルプラスの超音波カット機でカットできるのは「パンだけじゃない、こんなものまで切れます。」と目でご理解いただける内容です。お客様から設備に対する可能性を私どもに投げかけていただけたことが、展示会の成功を意味していたと考えております。

可能性を実現に変えていくことが展示会後の私どもの責務であります。お客様のお声に耳を傾け、お客様のご要望を形にできるように、グループのスローガン、『「その手があったか」を、次々と。』をお届けし続けたいと思います。



海外からの来場者様からは日本品質を求めるお声が多く聞こえました。

マルカはグローバル展開が特徴のひとつです。提案、販売だけでなく、現地でのアフターも含めたサービスにも定評がございます。

弊社現地法人与連携しながら、海外でも安心・安全な「食」が提供されることが当たり前の世界を実現できるよう、夢を持った提案をし続けていきたいと思っています。

(フードテックソリューション部 安藤 幹雄 記)

2025年度 全体会議



2025年7月、万博開催で活気に満ちた大阪で、年に一度の全体会議が開催されました。

7月10日は機材本部、グローバル本部、食品事業本部、翌11日には産業機械本部とエンジニアリング事業本部、そして15日には建設機械本部と、各本部の営業社員および子会社社長が一堂に会し、上期の活動を振り返り、下期の目標を共有する貴重な機会となりました。

全体会議は、全社員が自身の言葉で語り合う、まさに「人」に焦点を当てた場となっています。

会議冒頭では飯田社長があいさつに立ち、7月1日に発足したエンジニアリング事業本部の紹介、新会社ユニソル(株)設立の概要やユニソル賞受賞者の発表など、会社全体の動きを共有しました。その後、各本部長からの本部戦略の再確認と上期業績の振り返りがあり、続いて部門発表となりました。

部門発表では、若手社員から部長までが、上期の成果や営業活動における工夫などを共有しました。ある新婚の社員が自己紹介で「毎日幸せです!」と報告すれば、上司からは「来年も同じ状況か発表するように」と温かいツッコミが。また、他の出席者は「彼女ができました!」と高らかに宣言し、会場全体が笑いと祝福の拍手に包まれる一幕もありました。こうしたユーモア溢れるやり取りは、メンバーの距離感を縮め、会議全体も和やかな雰囲気で行進しました。

また、困難な状況乗り越えようとするリーダーの言葉も印象的でした。上期に厳しい状況下で部署を運営したあるリーダーは、部下が、掛けた負担によく耐え、奮闘してくれたことへの謝意を示し、事態が落ち着いた際には改めて感謝を伝えたいと語りました。また他のリーダーは、自身の営業経験を通じて得た成功事例や、現場で学んだ貴重な教訓を熱心に伝えていました。これらの姿から、周囲の人を大切に思う気持ちや、リーダーとして責任を果そうとする真摯な想いを感じられました。

懇親会では、本部や子会社の垣根を越えた交流が活発に行われ、仕事のことからプライベートまでざっくばらんな会話が弾みました。

今回の全体会議は、私たち一人ひとりの存在が会社の成長を支える基盤であり、互いの顔と名前、個性を知ることが、より強固なチームを築くための第一歩であることを再認識させてくれました。

この会議で得た学びと絆を胸に、次のステージに向けて一丸となって目標達成に邁進してまいります。

(全体会議事務局 瀬戸 玉江 記)

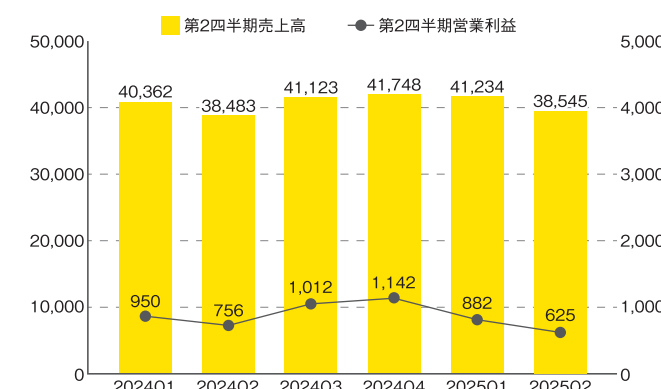
2025年12月期 第2四半期決算発表を行いました

フルサト・マルカホールディングス株式会社の第2四半期連結会計期間の経営成績は、売上高は79,779百万円(前年同期比1.2%増)となりました。販売費及び一般管理費が同4.8%増加したことで営業利益は1,507百万円(同11.7%減)、経常利益は1,856百万円(同14.1%減)となりました。特別損失に固定資産撤去費用95百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は996百万円(同65.2%減)となりました。

2025年12月期 第2四半期 連結決算サマリー

売上高	79,779百万円 前年同期比:101.2%
営業利益	1,507百万円 前年同期比:88.3%
経常利益	1,856百万円 前年同期比:85.9%
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	996百万円 前年同期比:34.8%

フルサト・マルカホールディングス 通期業績推移



マルカの動き

- 7/ 1:新キャンペーンオープニング 役割発表
- 7/10:機材本部・グローバル本部・食品事業本部 合同全体会議
- 7/11:産業機械本部・エンジニアリング事業本部 合同全体会議
- 7/15:建設機械本部全体会議
- 8/ 8:フルサト・マルカホールディングス 第2四半期決算発表
- 9/19:海外責任者会議

産業機械本部
機材本部
グローバル本部
建設機械本部
食品事業本部
エンジニアリング事業本部
合同全体会議



懇親会

